

兵庫五国

— 経営者に聞く —

兵庫五国（摂津、播磨、但馬、丹波、淡路）の経営者5人に、それぞれの地域への思いや各社の事業動向などを聞いた。5人とも積極的な経営で、地域を引っ張る存在感を発揮している。

摂津エリア

奥谷金網製作所
(神戸市中央区)

奥谷 智彦 専務



神戸のイメージで真っ先に思い浮かぶのは港だ。神戸港を一望できるメリケンパークには、高さ22層の巨大魚のオブジェが設置されている。神戸港の開港120周年を記念し約30年前に製作されたものだが、オブジェの材料となった金

加工技術で業界トップ目指す

がぎゅつとつまっている。

たい。

金網・パンチングメタル（打ち抜き金網）メーカーの当社は、他社にできない技術にこだわり、加工技術で業界世界一を目指している。その象徴が試行錯誤を繰り返し完成させた、金属の板厚より小径な穴をあけられる「スーパーパーパンチング」の技術だ。今

外売上高比率は3%ぐらいだが3年後をめどに10%へ引き上げたい。

網を当社は縁あって提供させてもらった。大正から昭和にかけて、フロンティアな気風が漂っていた。一方で灘五郷など数百年続いてきた日本酒の生産地もあり、この地域は魅力

150年前の開港前まで神戸のまちはほぼ何もなかったが、重厚長大産業が育ち、（総合商社の源流といわれ

る）鈴木商店の発祥地となつ

は板厚の半分サイズの穴があけられる加工技術にもめどをつけた。

米国とドイツに海外の営業拠点を構え、複数の海外企業とも事業提携する。現在の海

産地も

現在